

第11次労働災害防止推進計画(結果)

1 計画の期間

平成20年度から平成24年度まで

2 計画の目標

岐阜県内の労働災害による死亡者数について、平成24年の死亡者数を平成19年(基準年)の死亡者数と比較して20%以上減少させる。

岐阜県内の労働災害による死傷者数について、平成24年の死傷者数を平成19年(基準年)の死傷者数と比較して15%以上減少させる。

労働者の健康確保対策を推進し、定期健康診断における有所見率の増加に歯止めをかけ、減少に転じさせる。

2 目標の達成状況

死傷災害発生状況

平成24年に2,005人となり、当初の目標は達成された。しかしながら、近年、減少率が鈍化し、横ばい状態となっている。

死亡災害発生状況

平成23年及び24年においては過去最少の18人とはなったものの、当初の目標である16人以下の目標達成までには至らなかった。

定期健康診断における有所見率

平成22年以降に減少に転じることができた。

3 まとめ(概要)

【第三次産業】

11次防期間中における休業4日以上の死傷者数は、3,503人で、10次防期間中の3,441人と比較して、45人増加している。また、11次防の目標基準年である平成19年には747人であり、これが平成24年には729人となり2.4%の減少となっている。

【製造業】

11次防期間中における休業4日以上の死傷者数は、3,781人で、10次防期間中の5,061人と比較して、25%減少している。また、11次防の目標基準年である平成19年には1,017人であり、これが平成24年には718人となり、29%の大幅減少となっている。

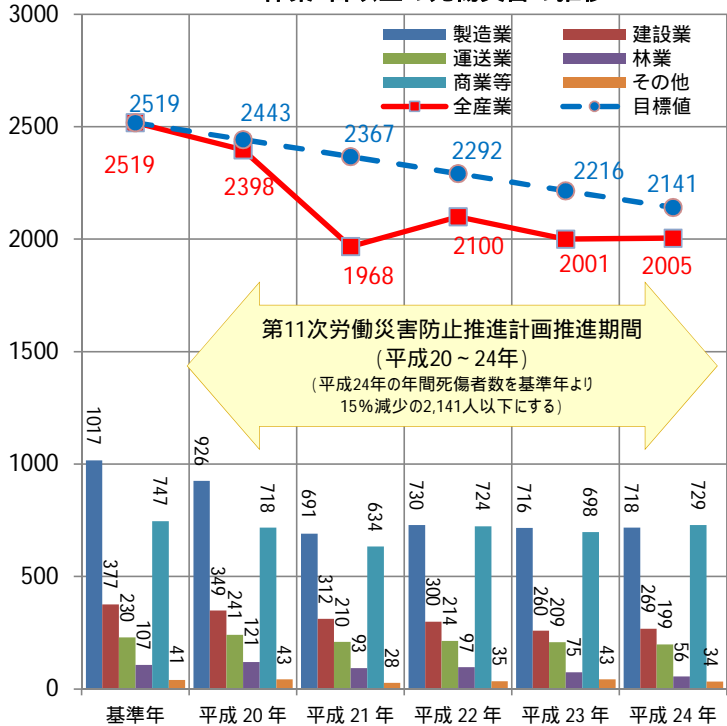
【建設業】

11次防期間中における休業4日以上の死傷者数は、1,490人で、10次防期間中の2,176人と比較して32%減少している。また、11次防の目標基準年である平成19年には377人であり、これが平成24年には269人となり、29%の大幅減少となっている。

【陸上貨物運送業】

11次防期間中における休業4日以上の死傷者数は、1,073人で、10次防期間中の1,301人と比較して18%減少している。
また、11次防の目標基準年である平成19年には230人であり、これが平成24年には199人となり、13%の減少となっている。

第11次労働災害防止推進計画期間中の休業4日以上の死傷災害の推移



業種	基準年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	11次防期間中
製造業	1,017	926	691	730	716	718	3,781
建設業	377	349	312	300	260	269	1,490
運送業	230	241	210	214	209	199	1,073
林業	107	121	93	97	75	56	442
商業等	747	718	634	724	698	729	3,503
上記以外	41	43	28	35	43	34	183
全産業	2,519	2,398	1,968	2,100	2,001	2,005	10,472

第11次労働災害防止推進計画の期間中の死亡災害の推移

